

都道府県データ

富山県

- 社会貢献活動拠出額……29,134,500円
- 社会貢献活動拠出件数……40件

- 総人口……1,111,602人
男性……535,542人
女性……576,060人
 - 人口密度(1Km²当たり)……262人
 - 世帯数……371,732世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

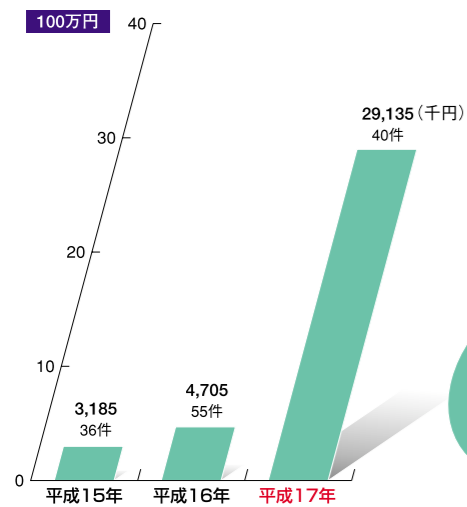


富山県遊技業協同組合
理事長
山本容基氏

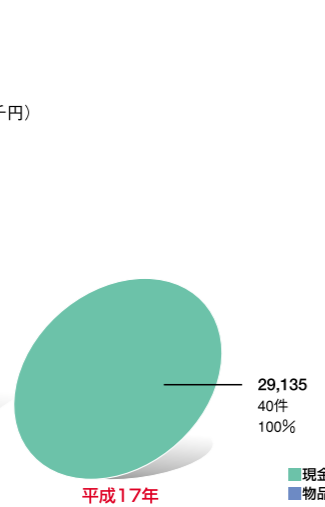
社会貢献の重要性を踏まえて。

富山県遊技業防犯組合連合会として、防犯協会をはじめ、各種団体や協議会に対し、社会貢献の重要性を認識のうえ、できる限りの協力、支援を行い地域社会との良好な関係を構築するとともに業界の発展に貢献したいと考えております。

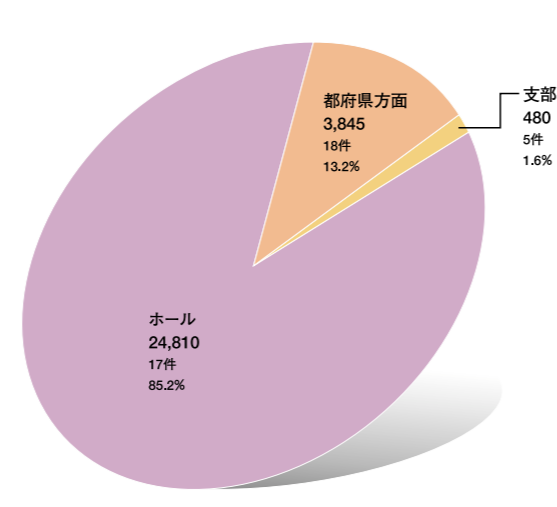
■ 年別 拠出額と拠出件数



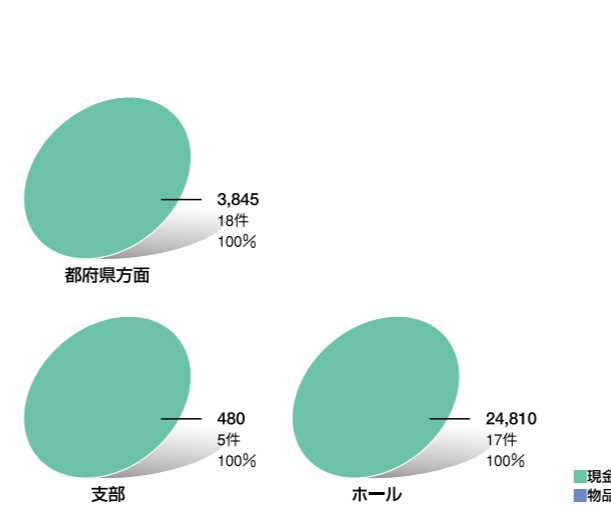
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



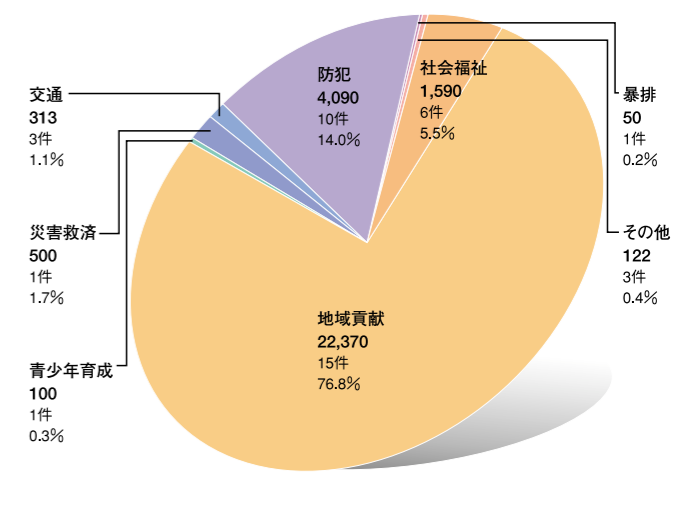
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



● 養護施設の園児にお菓子のクリスマスプレゼント

12月24日、養護施設「高岡愛育園」で実施される園児のクリスマス会(昼食会)に合わせ、組合青年部がサンタクロースに扮して同施設を訪問、電化製品(洗濯機)の寄付と同時に園児にお菓子をプレゼント。



クリスマスプレゼントに喜ぶ先生と園児

● 自動車盗難キャンペーンへの協賛

事件の多発防止を目的に、防犯協会や自動車関連団体等を中心に盗難被害防止協議会が結成された。県遊技業協同組合も「のぼり旗」や「チラシ」の作成費の一部やピラ配布に組合事務局から人員を出し協力した。

● 日韓親善30周年記念行事への協賛

富山県が、日韓親善30周年を迎えたことから、例年実施している協賛会費以外に、同協会が実施した30周年諸行事に対する参加と広告協賛金5万円を提供し両国の親善に寄与した。

● 社会を明るくする運動への協賛

更生保護振興課青少年育成富山県民会議が実施する事業として、年会費以外に小冊子を発行。県遊技業協同組合も賛助金として5万円の広告協賛を行った。



発行した小冊子

● 交通安全キャンペーンに協賛

地元富山テレビ放送で春と秋に流される交通安全運動のキャンペーン放送企画に対し協賛金15万5,000円を提供し交通安全運動に協賛した。

● 暴力追放センター発行の小冊子に協賛

暴力追放センターでは、企業などを対象に暴力団などから不当要求を受けた相談受理状況や対応要領について小冊子を発行。この企画に協賛金3万円を寄付。

都道府県データ

石川県

- 社会貢献活動拠出額……………1,944,867円
- 社会貢献活動拠出件数……………11件

- 総人口……………1,173,994人
 - 男性……………566,975人
 - 女性……………607,019人
 - 人口密度(1Km²当たり)……………280人
 - 世帯数……………424,431世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

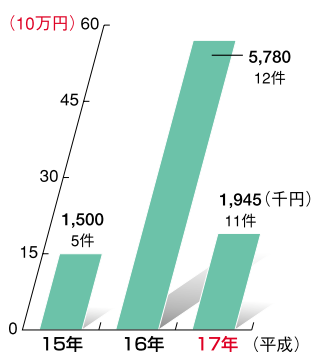


石川県遊技業協同組合
理事長
玉川昌範氏

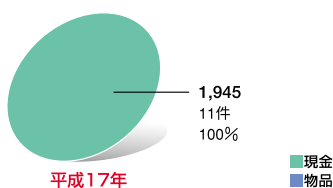
「地域に根ざしたまちづくり、ひとづくり」。

石川県遊技業協同組合では、県体育協会への継続的協賛をはじめ、「スペシャルオリンピックス」への協力、そして、一昨年より、県内各店舗の駐車場における「自主的定時パトロール」を展開し、車上狙い、および子どもの置き去りによる事故の根絶に努めており、今後とも「まちづくり、ひとづくり」への貢献を使命として遂行していく所存です。

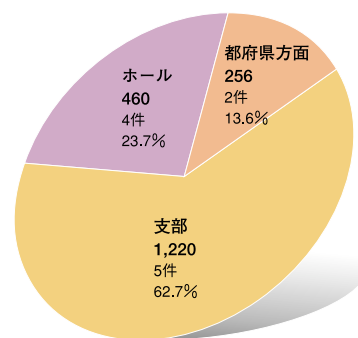
■ 年別 拠出額と拠出件数



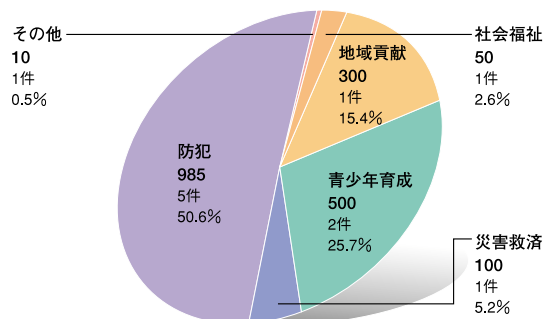
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



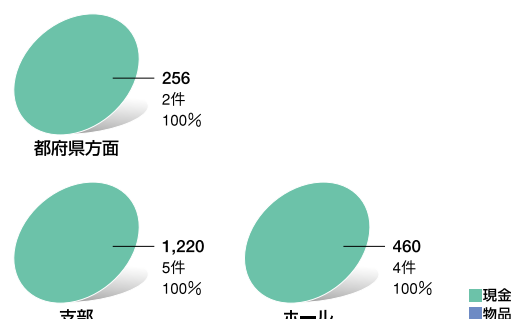
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



● スペシャルオリンピックス冬季世界大会などの活動支援

金沢支部が、NPO法人スペシャルオリンピックス日本・石川と、平成17年(2005年)2月に長野県で開催された「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」の活動支援として、同団体に25万6,346円を寄贈した。

- 県民総ぐるみによる防犯まちづくり運動に伴い、県市町が実施する防犯施策を全店舗が実施中
- 自動車等盗難防止に伴うキャンペーン・防犯施策を全店舗が実施中
- キャンペーン実施に伴う軽作業を授産施設に委託
- 青少年のためのスポーツ振興育成事業の協賛を継続中



子どもたちからのメッセージ



NPO法人スペシャルオリンピックス日本・石川からの感謝状

福井県

- 社会貢献活動拠出額……………2,766,260円
- 社会貢献活動拠出件数……………34件

- 総人口……………821,589人
男性……………397,219人
女性……………424,370人
- 人口密度(1Km²当たり)……………196人
- 世帯数……………269,506世帯

※総務省国勢調査資料より(17年10月)

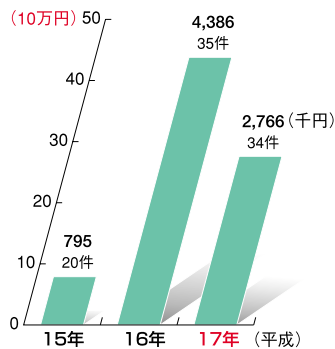


福井県遊技業協同組合理事長
加藤英彦氏

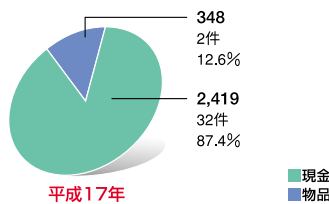
長寿県にふさわしい福井県遊技産業を目指して。

日本海側のヘソにあたる福井県。当県は日本一の長寿県、暮らしやすさトップクラス。昭和の初期から人口の変動が少ない地方で、遊技産業の在り方を模索しています。地元にも広く親しまれる事業体として、社会貢献は欠かせません。今後も身の丈にあった貢献活動を続けていきたいと考えております。

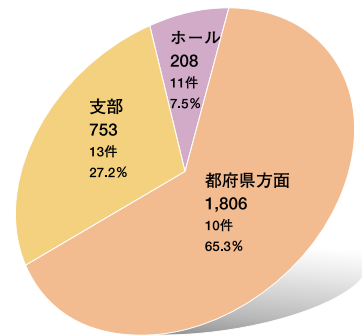
■ 年別 拠出額と拠出件数



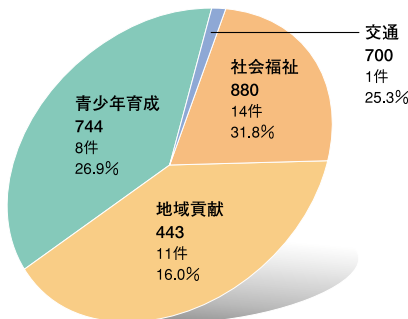
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



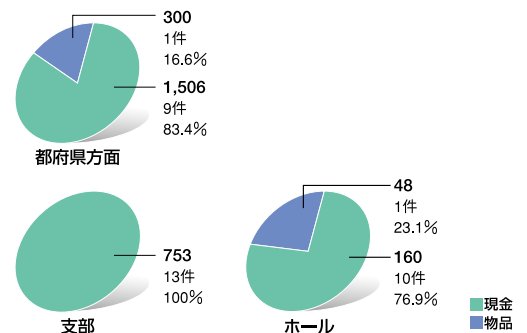
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



● 県独自の感謝祭

人口減少の地方環境、依存問題とは別の次元で、ファンの定着も図った「福井県独自のファン感謝祭」をお盆帰省時期に開催し、すでに6年目を迎えた。「ファンへの感謝貢献」で、投入予算は毎年1,000万円。

- 地元有力新聞を窓口とする「しあわせ基金」に毎年30万円
- 青少年育成・体育協賛関係へ毎年50万円
- 県安全協会へ交通安全活動協賛金(70~100万円)
- 暴走県民会議、福祉・ボランティアへ毎年80万円
- 安全安心街づくり(防犯ブザー・ひよこ手帳) 毎年40万円

都道府県データ

岐阜県

- 社会貢献活動拠出額……………108,067,937円
- 社会貢献活動拠出件数……………189件

- 総人口……………2,107,293人
 - 男性……………1,020,617人
 - 女性……………1,086,676人
 - 人口密度(1Km²当たり)……………198人
 - 世帯数……………713,276世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

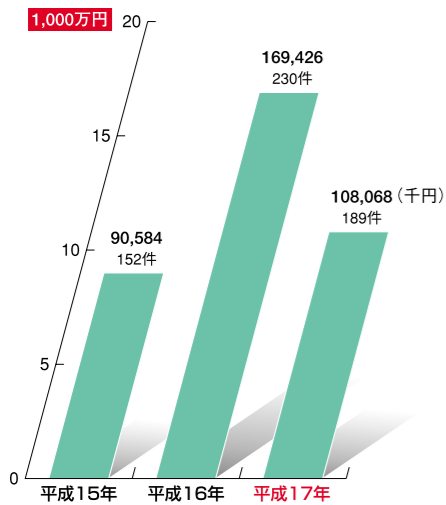


岐阜県遊技業協同組合
理事長
岩本栄植氏

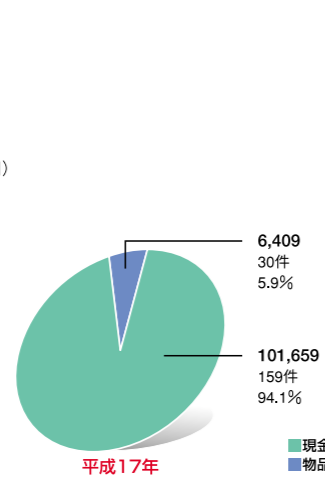
社会貢献は遊技業界の社会的責任。

我々遊技業界はバブル経済絶頂期に爆発的に成長を遂げましたが、種々の社会的問題を内包しました。産業規模を大きくし、大衆化しただけに経営者たる者、一段と社会的責任を自覚しなければなりません、それには地域の社会貢献を最大限行うこと。災害に治安に教育にタイミングを得た貢献は効果が大きいと思います。その意味で非組合員の不参加は残念です。

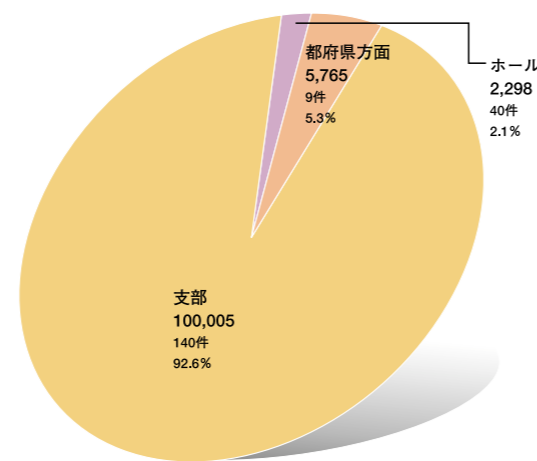
■ 年別 拠出額と拠出件数



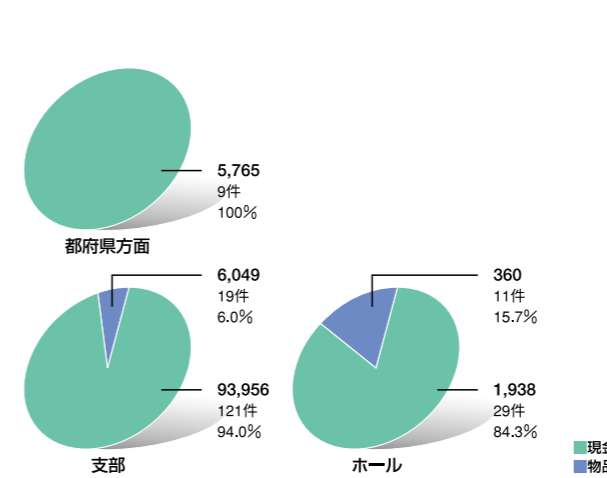
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



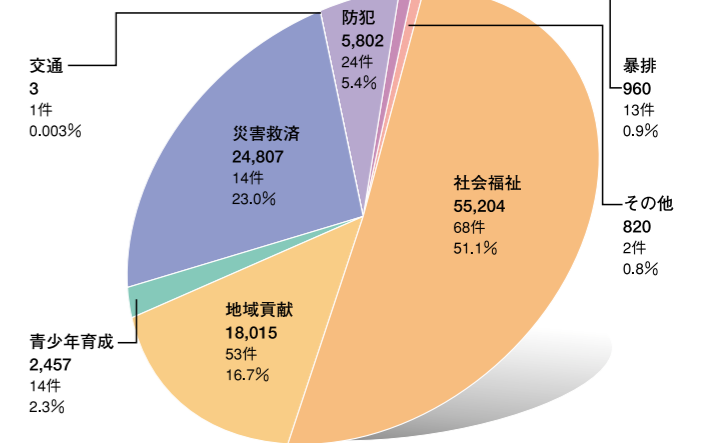
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



●岐阜市科学館に『3Dシアター地震体験装置』寄贈

岐阜県遊技業協同組合ならびに岐阜市娯楽遊技業振興協同組合傘下組合員各ホールに設置している「善意の箱」によって集められた浄財などから、岐阜市科学館に『3Dシアター地震体験装置』を3装置寄贈した。



3Dシアター地震体験装置寄贈の告知ポスター

●設立した(財)岐阜社会福祉事業協力が60余団体・機関に寄付

岐阜県遊技業協同組合と岐阜市娯楽遊技業振興協同組合が社会貢献活動を目的に設立し参加している(財)岐阜社会福祉事業協力は、平成17年(2005年)度の収益から約2,000万円を60余団体・機関に寄付した。

●羽島市と同市社会福祉協議会に寄付

●「岐阜県地震防災の日制定記念フォーラム」に特別協賛

●岐阜県暴力追放推進センターに100万円の協賛

●全国地域安全運動の標語県入選作品を活用し防犯看板を作成

●除雪対策用に岐阜県に200万円寄付

●大垣市および安八郡の小学校新入学生に防犯ブザー寄贈

大垣遊技業組合は組合員各ホールに設置している「善意の箱」基金と組合員から寄贈された基金から、例年行っている大垣市と安八郡の小学校新入学生への防犯ブザーの寄贈を平成18年(2006年)も行い2,600個を寄贈した。

●市内に口伝で伝わる話をまとめた本の印刷製本代を寄付

岐阜市娯楽遊技業振興協同組合は、小中学校の教材として活用することで、市内各地に口伝で伝わる話をまとめた『続・岐阜のつたえ話』の印刷・製本代を発行元の岐阜市教育文化振興事業団に寄付した。



羽島市と社会福祉協議会に寄贈



「花フェスタ2005ぎふ」の実行委員総会



全国地域安全運動 岐阜県民大会 表彰状



岐阜県地震防災の日制定記念フォーラムのチラシ

都道府県データ

愛知県

- 社会貢献活動拠出額……………271,722,130円
- 社会貢献活動拠出件数……………542件

- 総人口……………7,254,432人
男性……………3,638,486人
女性……………3,615,946人
 - 人口密度(1Km²当たり)……………1,405人
 - 世帯数……………2,756,200世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

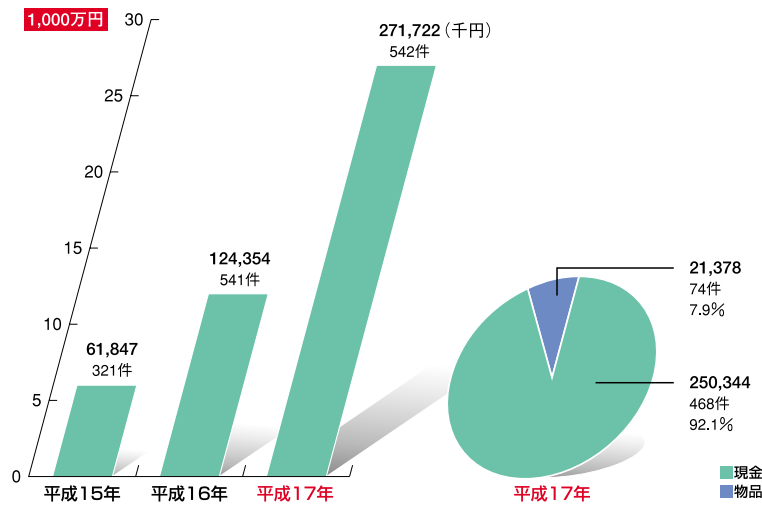


愛知県遊技業協同組合
理事長
平林米司氏

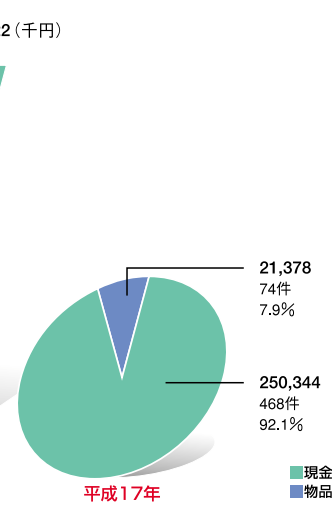
不正遊技機排除活動と環境への積極的な取り組み。

昨年は、各ホールの協力を得て自主立入検査を実施し、不正機の排除に努めました。また、愛知万博に出展し、好評を博したりサイクル運動をより活性化させるため、今後は遊技機の廃材を利用した玉入れ箱(ドル箱)を作製するなど、地域環境に配慮した循環型社会を目指します。

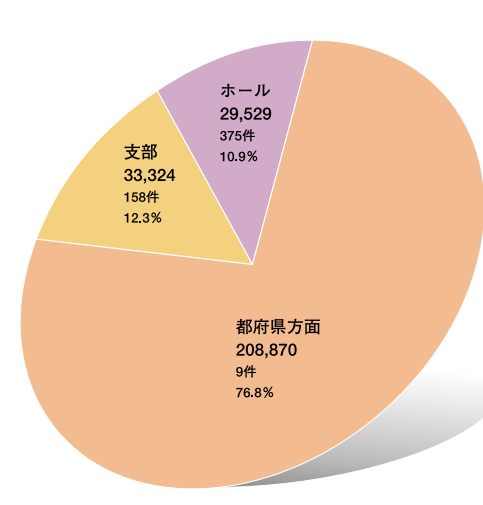
■ 年別 拠出額と拠出件数



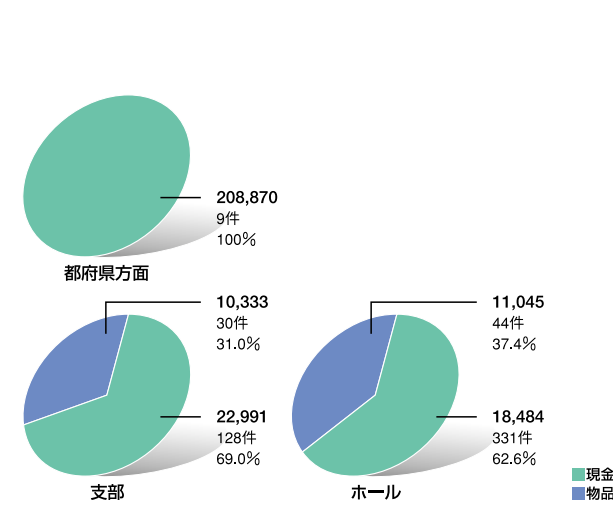
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



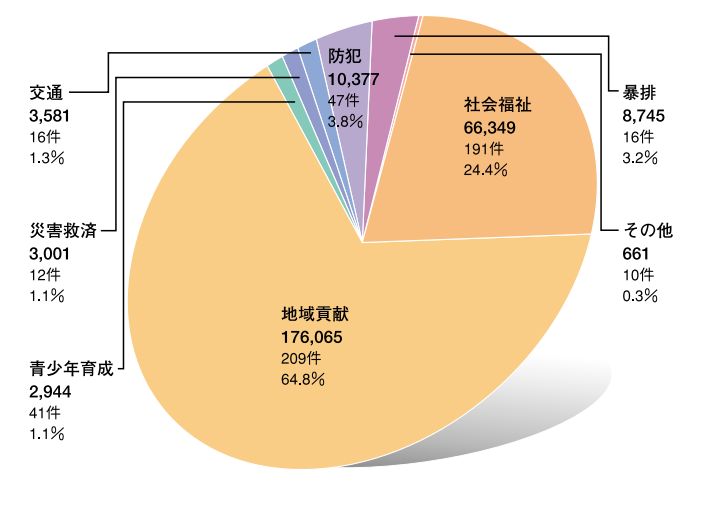
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



●パチンコ大衆文化・福祉応援賞の贈呈

愛知県下において、文化、芸術や福祉の分野で地域社会に貢献している個人・団体(毎年12)を表彰し、更なる活動を援助するため実施している。昨年で20回目を迎え、県民の間にもすっかり定着した。



パチンコ大衆文化・福祉応援賞の贈呈
パチンコ大衆文化・福祉応援賞の贈呈
女性は女優竹下景子さん

●愛知万博に出展し、パチンコ廃棄台リサイクル品の椅子などを展示

昨年開催された愛知万博にて、タイムシェアード型パビリオン「P-Forest」を出展した。リサイクル業者と提携し製作した椅子などのパチンコ廃棄台リサイクル品を展示し、高評価を受けた。



愛知万博に出展し、パチンコ廃棄台リサイクル品の椅子等を展示

●チャリティーゴルフ大会を開催しチャリティー金を福祉団体へ寄贈

青年部会では三笠宮寛仁親王殿下をお迎えし「宮様杯 愛遊青ウェルフェア・ゴルフトーナメント」を毎年開催している。同大会では参加者の方々に募金を募り、福祉団体AJU自立の家へ寄贈している。



チャリティーゴルフ
目録贈呈式

●新潟県中越地震の復興支援活動として義援金を寄付

●東海テレビ福祉文化事業団「愛の鈴」に義援金寄贈

●県内13福祉団体に福祉基金を寄贈

●(財)愛知県交通安全協会へ活動資金を寄贈

●AJU自立の家後援会主催のウェルフェアコンサート開催支援

●循環型社会の実現のための取り組みを特集記事として新聞に掲載



●電柱看板による住民意識の高揚

名古屋市西および中川支部では、管内の交差点・駅周辺などに避難所誘導案内や防犯・防火標語の電柱看板を設置、災害発生時における避難先や安全、安心についての住民意識の高揚に寄与。



電柱看板による住民意識の高揚

●児童養護施設の野球クラブの子どもたちにユニフォームを寄贈

児童養護施設(財)慈友学園の野球クラブの子どもたちがユニフォームがなく困っているという話を聞き、名古屋中遊技場防犯組合が食事に招待し、野球用ユニフォーム17着を寄贈した。



児童福祉施設の野球クラブの子どもたちにユニフォームを寄贈

●障害者施設入所者等を万博に招待

愛知県一宮支部においては、社会貢献の一環として管内の障害者施設の入所者や母子家族の人たち320名を愛・地球博に招待した。こうした催しは昨年で21回目となった。



障害者施設入所者等を万博に招待

●(財)暴力追放愛知県民大会へ活動基金を寄贈

●2005ITトライアスロン世界選手権蒲郡大会に協賛

●スマトラ沖地震に義援金を寄贈

●地域と協力してパトロール隊を結成し、地域の防犯活動に協力

●観劇券を購入し、施設の児童に寄贈

●授産施設のクッキーを購入し、ファン感謝デーにおいてお客様に無償配布



暴力団追放決起大会

都道府県データ

三重県

- 社会貢献活動拠出額……………25,388,300円
- 社会貢献活動拠出件数……………94件

- 総人口……………1,867,166人
男性……………907,294人
女性……………959,872人
 - 人口密度(1Km²当たり)……………323人
 - 世帯数……………675,025世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

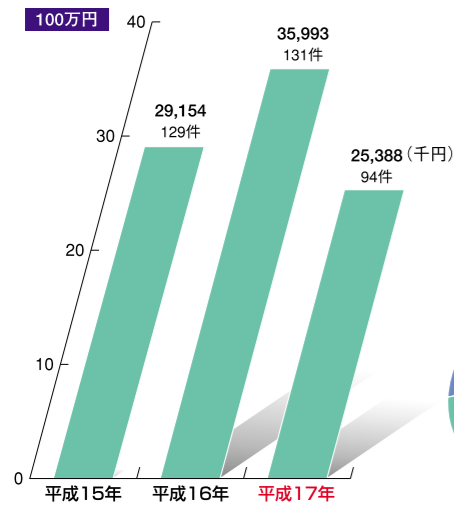


三重県遊技業協同組合理事長
山下健次氏

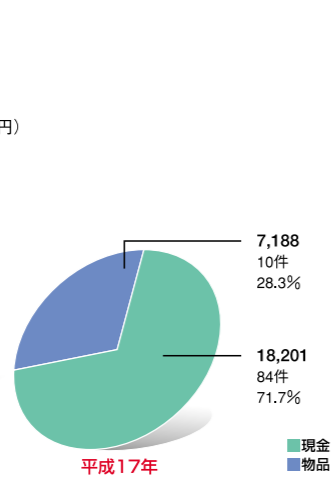
MPドリーム助成金。

Mとは三重県のM、PとはパチンコのP、ドリームは夢、三重県遊技業協同組合が、収益の一部を夢の実現に少しでもお役に立てればということで、この助成金を立ち上げました。立ち上げは平成15年(2003年)から今年で4回目を迎えますが、『善意の箱』と合わせますと昨年度は2,500万円となり、33年間の累積では総額8億円を助成しています。

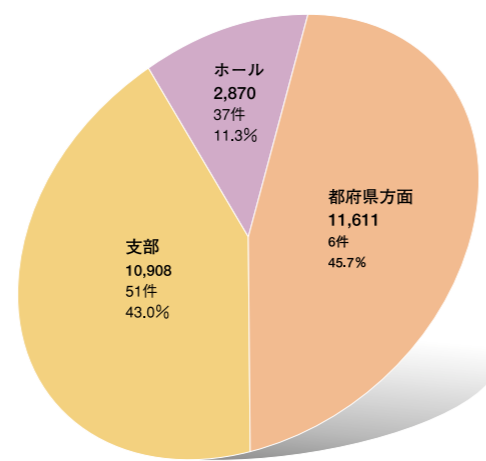
■ 年別 拠出額と拠出件数



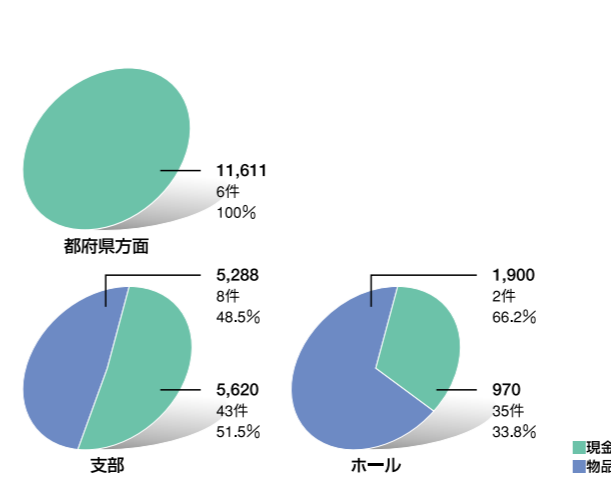
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



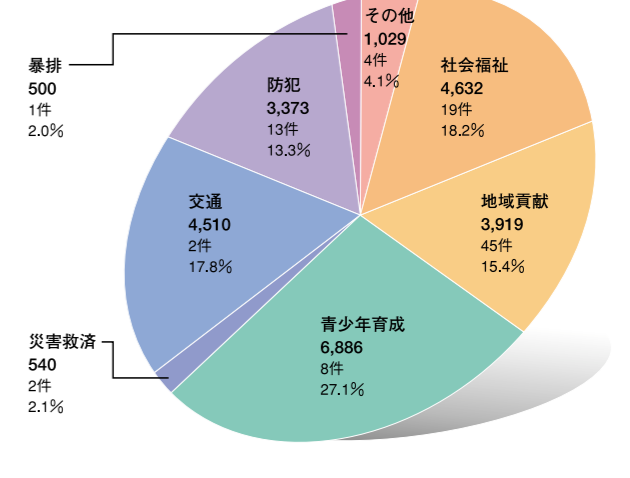
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



● ボランティアグループに助成活動を行う「MPドリーム助成金」設立

平成15年(2003年)より、県内で活動するNPO法人などボランティアグループを対象に活動スペースの提供や研修会の開催、機材の購入等の助成を目的とした「MPドリーム助成金」を設立し、多くの団体に助成を行った。

秘密基地研究会の竹を用いたスタードーム教材作りに助成



切り出した6本の竹を新規購入した竹割り機で割っていく



竹をよいて材料作り、この作業には手袋が必需品



いろいろ試した結果、3人で行うこの方法が最も効率的であることが判明



みんなでドームの立ち上げ。各自の受け持ちを説明してから一気にドーム出現の瞬間



子どもたちは嬉しくてもうしゃぎだしたこの日も雑誌「伊勢人」の取材がある



フレームが完成した所で生徒たちの記念写真

● チャイルドライン24実施組織への助成

子どもの心を受け止める仕組みを構築し、子どもが安全に安心して健やかに育つ社会づくりを目的として24時間体制電話の受け手、支え手を行う活動への支援をした。

● NPO法人三重にフリースクールを作る会に助成

学校に行けないことで居場所、仲間たちとの活動場所、学びの場がない不登校の子どもたちを対象としたフリースクールの活動に対して支援した。

● 三重県犯罪被害者支援センターに開設支援金を助成

● 日本の棚田百選に選ばれている坂本地区棚田保存会に助成

● 防災一座(災害救援)他31団体に助成



フリースクール風景



河原でもフリースクール開催



三重県警察本部長木岡保雅氏あいさつ



犯罪防止パトロール